

耐久高等学校防災スクール

実施日時	令和5年3月14日（水）8：30～11：30
参加者	生徒192名（1年生）教職員13名 計205名
実施内容	湯浅広川消防組合の指導による各種防災実技訓練 1 ロープワーク 2 起震車体験 3 救助袋による降下訓練 4 AED心肺蘇生法 5 簡易担架による搬送

参加者感想文

1-1 安本祐人

普通なら体験できないことを経験できたので自分たちのためにもなりました。地震体験では今までだったら何とかかなると思っていた揺れでも想像以上に揺れていたのがびっくりしました。そして一度大きい揺れを体験したことで自分が家にいたら、学校にいたら、その時に取らなければならない行動について改めて考えさせられ、日頃から準備をしておくことが大切だと実感しました。救助袋を使った降下訓練は正直楽しかったけれど、いざという時それを設置して逃げられるかという点で出来ないのでしっかりと確認しておかなければならないと思いました。胸骨圧迫とAEDを用いた救助訓練では、やり方は知っていたけれど、実際にしてみると難しかったので、知識だけでなく技術も磨いておかなければいけないと思いました。今日の訓練を体験して災害はいつ起きるか分からないからこそ、本当に日頃から準備や対策をする意識に変わりました。消防隊の方々ありがとうございました

1-3 野上陽大

防災スクールを通して、今まで知らなかったことに加えて、改めて学んだこと、思い出したことなど、自分のためになる知識を取り入れることが出来て、すごくよい経験になりました。特に印象に残っているものとして、負傷者や意

識がない人の運び方がありました。その場合にあった運び方がそれぞれあり、実際に運ばなければならない場合にあった時には、その状況に応じて考えて行動する力が必要だと思いました。また、今日学んだことは忘れてしまっただけでは意味がないので、忘れてしまう前に定期的に講習を受けるなど、自主的に学んでおくことも必要だと思いました。これからの生活の中で、必ず今日学んだことが必要になる場面があると思うので、いつか必要とするときまでに実際に出来るようになっておこうと思いました。今日学んだ知識をこれから活かしていきたいです。

1-5 櫻本向日莉

今日の防災スクールを通してたくさんのお話を学ぶことが出来ました。色んな種類の活動があって、ひとつひとつのものに色々な意味があるんだなと思いました。一番心に残っている体験は毛布一つで人を助けることが出来るのはすごいと思いました。棒があるとさらに簡単に助けられるのもすごいと思いました。普段は膝にかけてたり寒いときに使ったりしている毛布が災害の時に役に立つということを知ることが出来ました。胸骨圧迫やAEDなど初めてすることもあったけど、その方法を学んでいることで本当に起こったときに使えるので、教わる事が出来てよかったと思います。ロープワークはしたことがあったけど、違う種類のものも

多くあったので、色々な種類の方法を身につけることが出来たと思います。いつ災害が起こるか分からないけれど、いつきても避難できるように準備したり、人が苦しんでいたら今日学んだことを少しでも使えたらいいなと思いました。



開講式



救助袋による降下



ロープワーク



AED心肺蘇生法



起震車による体験



タンカでの搬送